

社会的決定要因特論（山本龍生）

Advanced Course of Social Determinants of Health (Tatsuo Yamamoto)

キーワード

- ① 健康格差
- ② 地域差
- ③ 社会的決定要因
- ④ 社会経済的要因
- ⑤ 社会疫学

関連する学位授与方針

- ①
- ②
- ④
- ⑤

関連する教育実施方針

- ①
- ②
- ④
- ⑤
- ⑥

授業概要

人々の健康は生物学的な要因だけでなく、社会経済的な要因によっても大きく影響を受けている。口腔の健康についても同様に、これまで様々な社会的決定要因が報告されている。そこで、先行研究を材料として、口腔の健康状態や保健行動に関連する社会的決定要因について概説し、社会的決定要因への介入方法について議論する。さらに、社会的決定要因を特定する研究方法論である社会疫学について、その原理および分析方法について事例を交えて詳説する。

授業科目の学修目標

本科目では、歯科領域における健康格差の現状と社会的決定要因を理解し、格差解消に寄与する社会疫学の原理と方法を理解するため必要な知識を修得することを目標とする。

授業計画

- ① 健康格差と社会的決定要因の意義と基本的事項 6コマ 山本龍生
- ② 歯科領域における健康格差と社会的決定要因
 - ・う蝕における健康格差と社会的決定要因 4コマ 山本龍生
 - ・歯周病における健康格差と社会的決定要因 4コマ 山本龍生
 - ・その他の歯科に関する健康格差と社会的決定要因 4コマ 山本龍生
- ③ 歯科疾患における地域差 4コマ 山本龍生
- ④ 社会疫学研究の視点
 - ・社会疫学の原理 4コマ 山本龍生
 - ・社会疫学の方法 4コマ 山本龍生

教科書および参考書

近藤克則編著：健康の社会的決定要因 疾患・状態別『健康格差』レビュー、日本公衆衛生協会、2013

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

歯科を含めた健康情報の疫学に関する予備知識が要求される。また、国内外の原著論文や総説論文を熟読し、その内容を理解する能力が求められる。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 健康格差と社会的決定要因の意義と基本的事項を説明できる。
- ② 歯科領域における健康格差と社会的決定要因を説明できる。
- ③ 歯科疾患における地域差および地域差に関連する要因を説明できる。
- ④ 社会疫学研究の視点で健康格差と社会的決定要因に関する研究を批判的に吟味できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
50%	0%	20%	0%	0%	30%	0%

評価の要点

- ・試験は、授業計画で行った講義の知識の理解度を判定する。1回50%
- ・レポートは、授業計画①から④の各項目について課題を提出する。5%×4回=20%
- ・口頭試問は、授業終了後毎回行い知識の理解度を判定する。1%×30回=30%

理想的な達成レベルの目安

理想的な達成レベルは80%以上とする。